

2| ハザードマップで周囲の危険や避難場所を把握しよう

町内には大小複数の河川があり、中山間地域を中心に土砂災害警戒区域が多く点在しています。ハザードマップなどを活用して、危険がどこにあるか、安全な避難経路はどこかなど事前に把握しておきましょう。



町ホームページからも確認することができます。



3| 身を守るための行動をしよう

気象情報や避難情報を元に、危険が迫る前に周りの状況に応じて適切に行動しましょう。

**避難所に行くことだけが避難ではありません。
「避難」とは「難」を「避」けることです。**



- 警戒レベル3 避難に時間を要する高齢者や障がいのある方などが、危険な場所から避難する。
- 警戒レベル4 危険な場所にいる人は全員が避難する。
- 警戒レベル5 既に災害が発生または切迫した状況になっているので、この段階の前に避難しておく。

4| 非常時の持ち出し品を準備しよう

風水害発生時の避難所は、長期間の避難を想定していません。いざ避難する時に、何を持っていくかを判断するのはとても難しいことです。食料や飲料水、常備薬など必要なものを準備して、慌てずに行動できるようにしておきましょう。

食料・飲料水	貴重品	救急用品	衛生用品
●非常食 3日分/1人 ●飲料水 9リットル/1人(3日分) ●お菓子など	●通帳 ●印鑑 ●保険証 ●免許証など	●救急用品セット (ばんそうこう・消毒液など) ●持病の薬 ●お薬手帳など	●マスク ●ウェットティッシュ ●生理用品 ●紙おむつなど
生活用品・衣類	避難グッズ	情報グッズ	燃料
●手袋 ●下着 ●タオル ●上着 ●ハンカチ ●毛布など	●非常用持ち出し袋 (リュックサックなど) ●懐中電灯 ●ヘルメットなど	●スマートフォン等の充電器 ●モバイルバッテリー ●ラジオなど	●カセットコンロ ●カセットガス ●固体燃料など
●問い合わせ先 総務課 総務係 TEL 72-3111(内線113)			

風水害に備えましょう



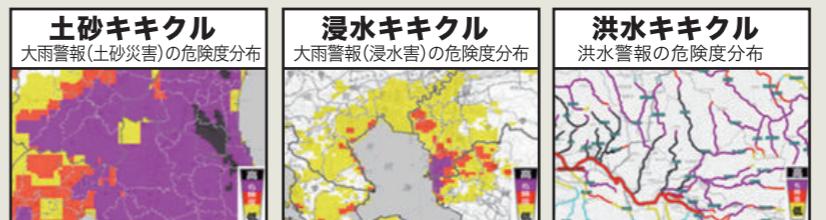
近年では、毎年日本各地で大雨特別警報や記録的短時間大雨情報が発表されるなど大雨による被害が多数発生しています。台風や大雨は、発生や規模を事前に把握することができる程度可能なため、被害を少しでも抑えるために正確な情報を入手し、自身の安全を守るにはどのような行動をとるべきかを考えましょう。

1| 防災気象情報を入手しよう

自らの身を守るためにには、いざという時必要な情報を入手できること大切です。そのためには、平常時から防災気象情報の収集方法を確認し、活用できるように備えることが大変重要です。

危険度分布(キクル)を活用しましょう

気象庁から配信される危険度分布(キクル)は、警報が発表されたときや、強い雨が降ってきたときに、どこで「土砂災害」、「洪水災害」、「浸水害」の危険度が高まっているかを知ることができます。命を守るために必要な情報です。



危険度の高まるエリアを1kmメッシュ・5段階で色分けして地図上にリアルタイム表示されます。今自分がいる場所から避難する必要があるのかどうかを一目で把握できます。命を守るために有効な情報ですので、活用しましょう。

警戒レベル 4【紫】までに必ず避難!!

色	警戒レベル	避難情報
黒 災害切迫	5 相当	緊急安全確保
紫 危険	4 相当	避難指示
赤 警戒	3 相当	高齢者等避難
黄色 注意	2 相当	自らの避難行動を確認
白(水色)	-	災害への心構えを高める

災害の危険が高まり、避難指示などが発令される場合は、複数の伝達方法により町民のみなさんに情報を伝えします。

主な情報伝達方法

①防災アプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」

福岡県では、気象や避難情報等が容易に入手できるスマートフォンアプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」を開発しました。

大きな文字表示と簡単操作で、子どもから高齢者まで幅広く、誰にでも親しみやすいアプリになっています。出水期に備え、皆様にもぜひご登録いただき、ご活用をお願いします。



iphone用

②防災メール・まもるくん



③防災行政無線

※町防災行政無線デジタル化により、放送内容をメール、SNSで受け取ることができます。



LINE facebook

④上毛町公式アプリ



iphone用



https://www.town.koge.lg.jp/

⑥緊急速報メール(事前登録不要)

⑦九州朝日放送(KBC)データ放送「dボタン広報誌」

- テレビのチャンネルをKBCにあわせる
- お手持ちのリモコンの「dボタン」を押す
- 「dボタン広報誌」を選択して、「決定ボタン」を押す